

平成21年12月期 第3四半期決算短信

平成21年10月27日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 シマノ

コード番号 7309 URL <http://www.shimano.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 島野 容三

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 平田 義弘

TEL 072-223-3254

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年12月期第3四半期の連結業績(平成21年1月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年12月期第3四半期	134,438		13,678		13,810		7,861	
20年12月期第3四半期	170,602	12.2	28,032	27.2	27,876	23.7	18,644	17.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年12月期第3四半期	81.97	
20年12月期第3四半期	194.30	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年12月期第3四半期	194,364	169,846	87.1	1,765.02
20年12月期	193,238	165,768	85.4	1,721.36

(参考) 自己資本 21年12月期第3四半期 169,273百万円 20年12月期 165,088百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年12月期		30.50		30.50	61.00
21年12月期		30.50			
21年12月期(予想)				30.50	61.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年12月期の連結業績予想(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	183,000	22.2	20,000	47.1	20,000	45.5	11,200	55.5	116.78

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等] 4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 有
以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等] 4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年12月期第3四半期	96,003,207株	20年12月期	96,003,207株
期末自己株式数	21年12月期第3四半期	98,769株	20年12月期	97,526株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年12月期第3四半期	95,904,934株	20年12月期第3四半期	95,954,994株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・上記の業績予想は現時点において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因に対する仮定を前提としています。従って、実際の業績は内外の状況変化により異なる結果となる場合がありますのでご承知おき下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におきましては、アジアを中心に景気を持ち直しの動きが見られるとはいえ、本格的な回復には至らず、世界的な金融危機による深刻な影響が続いております。国内の景況感にも最悪期を脱した様子がうかがえるものの、設備および雇用の過剰感が未だ払拭されず、個人消費のさらなる悪化が懸念されております。

こうした状況のもと、当社グループは「人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよるこびに貢献する。」を使命に、自転車ライフ・フィッシングライフをより豊かにするライフスタイル ギア事業部を発足するなど、こころ躍る製品づくりに努め、市場の深耕と生産物流体制の合理化を推進してまいりました。

しかしながら、世界同時不況の影響は依然として大きく、自転車部品事業が欧米市場における中高価格帯製品の出荷が落ち込んだことや、釣具事業も引き続き欧米およびアジア市場での苦戦を強いられるなど、販売の低迷を余儀なくされました。

この結果、第3四半期連結累計期間における売上高は134,438百万円、営業利益は13,678百万円、経常利益は13,810百万円、四半期純利益は7,861百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

自転車部品事業

北米市場での中高価格帯自転車の販売が春先以降低調になり、この結果、北米市場における中高価格帯自転車の在庫調整の進捗がさらに遅れました。

欧州市場においても中高価格帯自転車の販売は底堅く推移しているものの、新たな発注に対して慎重な姿勢を見せるお取引先が多く、当社自転車部品事業全体の第3四半期の出荷は昨年を下回りました。

この結果、売上高は102,866百万円、営業利益は13,367百万円となりました。

釣具事業

国内市場では回復の兆しは見られるものの、昨年から続く不況感による高価格帯製品の買い控えと、夏場の河川状況の悪化により、前年の売上をわずかに下回る結果となりました。

また、海外市場におきましても欧州地域での在庫調整が続き、アジア地域での円高による需要の減退とあいまって前年の売上を大きく下回りました。

この結果、売上高は30,586百万円、営業利益は684百万円となりました。

その他事業

その他事業の売上高は984百万円、営業損失は372百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産・負債及び純資産の状況

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は194,364百万円(前連結会計年度比1,126百万円の増加)となりました。これは、現金及び預金が16,358百万円増加し、受取手形及び売掛金が11,570百万円、たな卸資産が4,954百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

(総負債)

当第3四半期連結会計期間末における総負債は24,518百万円(前連結会計年度比2,951百万円の減少)となりました。これは、長期借入金が875百万円、その他流動負債が1,388百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は169,846百万円(前連結会計年度比4,077百万円の増加)となりました。これは、主として利益剰余金が2,002百万円増加したこと等によるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、53,063百万円(前連結会計年度比14,554百万円の増加)となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、33,363百万円の増加となりました。主な収入要因は税金等調整前四半期純利益10,598百万円、売上債権の減少12,277百万円等によるものです。また主な支出要因は法人税等の支払額5,164百万円等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、10,700百万円の減少となりました。主な支出要因は有形固定資産の設備投資6,677百万円、子会社株式の取得による支出2,167百万円等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、7,768百万円の減少となりました。主に配当金の支払5,846百万円等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

世界同時不況といわれる現在、国際金融情勢の混迷については好転しつつあるものの、各国における実体経済の状態には明るさが見えず、特に雇用の悪化が深刻さを増していることから、消費意欲の減退については長期化が予想される状況にあります。

当社グループが展開する自転車部品事業および釣具事業においては、市場での在庫調整は進みつつあるものの、当社グループの販売面は依然として厳しい状況に置かれております。

こうした状況を鑑み、当期の連結業績予想（平成21年10月2日発表）につきましては、これを修正し、売上高183,000百万円、営業利益20,000百万円、経常利益20,000百万円、当期純利益11,200百万円とさせていただきます。

詳細につきましては、平成21年10月27日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

法人税並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合については、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用しております。

また、前連結会計年度末以降に経営環境等、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合については、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

「四半期財務諸表に関する会計基準」等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当連結会計年度の第1四半期連結会計期間から、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号）を適用しております。

これにより四半期連結財務諸表に与える影響は、軽微であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

5.【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	58,672	42,314
受取手形及び売掛金	19,622	31,192
商品及び製品	22,295	22,508
仕掛品	12,884	16,560
原材料及び貯蔵品	3,952	5,017
繰延税金資産	2,261	1,957
その他	3,183	3,293
貸倒引当金	404	352
流動資産合計	122,467	122,492
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,184	16,502
機械装置及び運搬具（純額）	10,821	10,349
土地	11,708	11,692
建設仮勘定	2,644	880
その他（純額）	3,525	3,912
有形固定資産合計	44,883	43,337
無形固定資産		
のれん	4,182	3,816
ソフトウェア	4,283	5,178
ソフトウェア仮勘定	54	113
その他	3,349	2,853
無形固定資産合計	11,871	11,961
投資その他の資産		
投資有価証券	9,466	9,990
長期貸付金	40	45
繰延税金資産	3,781	3,346
その他	2,417	2,632
貸倒引当金	563	567
投資その他の資産合計	15,141	15,446
固定資産合計	71,897	70,746
資産合計	194,364	193,238

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,324	6,768
短期借入金	1,583	2,304
未払法人税等	1,629	2,101
繰延税金負債	585	768
賞与引当金	1,657	937
役員賞与引当金	114	132
その他	7,796	9,184
流動負債合計	19,692	22,197
固定負債		
長期借入金	1,143	2,019
繰延税金負債	1,011	675
退職給付引当金	1,413	1,347
役員退職慰労引当金	1,199	1,140
その他	56	89
固定負債合計	4,825	5,272
負債合計	24,518	27,469
純資産の部		
株主資本		
資本金	35,613	35,613
資本剰余金	5,823	5,823
利益剰余金	139,006	137,004
自己株式	395	391
株主資本合計	180,047	178,049
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	88	1,658
為替換算調整勘定	10,685	11,302
評価・換算差額等合計	10,774	12,961
少数株主持分	573	680
純資産合計	169,846	165,768
負債純資産合計	194,364	193,238

(2)【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)
売上高	134,438
売上原価	88,990
売上総利益	45,447
販売費及び一般管理費	31,769
営業利益	13,678
営業外収益	
受取利息	424
受取配当金	105
その他	435
営業外収益合計	966
営業外費用	
支払利息	312
その他	522
営業外費用合計	834
経常利益	13,810
特別損失	
投資有価証券評価損	3,211
特別損失合計	3,211
税金等調整前四半期純利益	10,598
法人税、住民税及び事業税	4,648
法人税等調整額	1,957
法人税等合計	2,691
少数株主利益	46
四半期純利益	7,861

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	10,598
減価償却費	7,078
受取利息及び受取配当金	530
支払利息	312
売上債権の増減額(は増加)	12,277
たな卸資産の増減額(は増加)	6,307
仕入債務の増減額(は減少)	572
有形固定資産除売却損益(は益)	54
未払賞与の増減額(は減少)	51
その他	2,993
小計	38,468
利息及び配当金の受取額	480
利息の支払額	421
法人税等の支払額	5,164
営業活動によるキャッシュ・フロー	33,363
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	6,677
無形固定資産の取得による支出	406
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	2,167
その他	1,449
投資活動によるキャッシュ・フロー	10,700
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	949
配当金の支払額	5,846
短期借入金の純増減額(は減少)	809
少数株主への配当金の支払額	159
その他	4
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,768
現金及び現金同等物に係る換算差額	339
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	14,554
現金及び現金同等物の期首残高	38,509
現金及び現金同等物の四半期末残高	53,063

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) セグメント情報
【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年9月30日)

	自転車部品 (百万円)	釣具 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	102,866	30,586	984	134,438	-	134,438
(2)セグメント間の内 部売上高	-	-	-	-	-	-
計	102,866	30,586	984	134,438	-	134,438
営業利益又は営業損失 ()	13,367	684	372	13,678	-	13,678

- (注) 1 事業の区分は、製品の用途による区分によっております。
2 各事業区分の主な製品
(1) 自転車部品 フリーホイール、フロントギア、変速機、ブレーキ他
(2) 釣具 リール、ロッド他
(3) その他 冷間鍛造品、スノーボード関連用品他

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	87,888	16,581	17,459	9,963	2,546	134,438	-	134,438
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	16,002	577	1,893	37,075	3	55,552	(55,552)	-
計	103,890	17,159	19,352	47,038	2,549	189,991	(55,552)	134,438
営業利益	4,830	486	1,244	6,942	174	13,678	-	13,678

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
2 日本以外の区分に属する主な国又は地域
(1) 北米 アメリカ合衆国、カナダ
(2) ヨーロッパ オランダ、ドイツ、イギリス、イタリア、ベルギー、フランス、スウェーデン、ノルウェー、フィンランド、チェコ、ポーランド
(3) アジア シンガポール、マレーシア、台湾、中国、インドネシア
(4) その他 オーストラリア

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

【参考資料】

前第3四半期に係る財務諸表

(1) (要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年1月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	170,602
売上原価	109,921
売上総利益	60,680
販売費及び一般管理費	32,648
営業利益	28,032
営業外収益	1,838
1 受取利息及び配当金	1,261
2 その他	576
営業外費用	1,993
1 支払利息	398
2 その他	1,594
経常利益	27,876
税金等調整前四半期純利益	27,876
法人税、住民税及び事業税	6,152
法人税等調整額	3,014
少数株主利益	65
四半期純利益	18,644

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年1月1日 至 平成20年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	27,876
減価償却費	6,998
受取利息及び受取配当金	1,261
支払利息	398
有形固定資産除売却損益	157
売上債権の増減額	5,060
たな卸資産の増減額	9,342
仕入債務の増減額	806
未払割戻金の増減額	127
その他純額	3,518
小 計	27,048
利息及び配当金の受取額	1,216
利息の支払額	399
法人税等の支払額	11,940
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,925
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	6,444
無形固定資産の取得による支出	587
投資有価証券の取得による支出	9,268
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	393
その他純額	880
投資活動によるキャッシュ・フロー	17,574
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額	1,802
配当金の支払額	4,892
少数株主への配当金の支払額	22
その他純額	293
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,011
現金及び現金同等物に係る換算差額	490
現金及び現金同等物の増減額	9,152
現金及び現金同等物の期首残高	52,691
現金及び現金同等物の四半期末残高	43,539

(3)セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年1月1日 至 平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	自転車部品	釣具	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
1)外部顧客に対する売上高	133,498	34,773	2,330	170,602	-	170,602
2)セグメント間の内部売上高	-	-	-	-	(-)	-
計	133,498	34,773	2,330	170,602	(-)	170,602
営業費用	107,947	32,267	2,355	142,570	(-)	142,570
営業利益又は営業損失()	25,550	2,505	24	28,032	(-)	28,032

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年1月1日 至 平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	北米	ヨーロッパ	アジア	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
1)外部顧客に対する売上高	120,676	13,090	21,468	14,302	1,063	170,602	-	170,602
2)セグメント間の内部売上高	21,061	509	2,742	54,766	2	79,081	(79,081)	-
計	141,737	13,600	24,210	69,068	1,065	249,683	(79,081)	170,602
営業費用	126,430	13,198	21,780	59,324	918	221,651	(79,081)	142,570
営業利益	15,307	401	2,430	9,744	147	28,032	-	28,032